

平成 25年度 小・中学校における環境教育の取組み

社会科・総合的な学習の時間（第4学年）

テーマ【 地球を守る ^{まもるよん!} 4 レンジャー 】

東大阪市長高井田東小学校

《学習のねらい》

- ・児童が「人をとりまくすべての要素が環境であること」と捉え、身近な環境に興味・関心をもち、自ら行動し情報発信できる能力を培う。

《取組みについて》

① 総合的な学習の時間「水とゴミから考える大阪のまち」

社会科副読本「わたしたちの東大阪」を活用し、水道に関する学習を始め、「安心して飲める水」を守るために、自分たちが環境を守らなければならないと決意を固め、「高東を守る4レンジャー」をテーマに運動会の団体演技でダンスを披露し、意思表示を行いました。

② 家庭のゴミ調べ(量や分類)、校内パッカー車体験と出前授業

東大阪市環境部循環社会推進課の方々の協力をいただきながら、社会科の教科書にあるゴミの勉強で、各家庭のゴミをため、どんなものがゴミになり、どうすれば減らせるのかを考えるとともに、ゴミを処理してもらっていることを知りました。

③ 下水処理施設見学・長良川観察

ゴミの処理に続き、汚れた水の処理について考えました。川俣水みらいセンターで水をきれいにすることがどれだけ大変かを学んできました。

④ 「米ぬか洗剤」手作り講座・花王「エコ日記」活動Ⅰ・「みんなで節水チャレンジ」2週間

ゴミや水の処理をしてくださる方々の手助けはできないかを考えました。水の汚れを減らすために、株式会社アドバンスの方に米ぬか洗剤の作り方を教えていただきました。次に水を使う量を減らすために、4年生児童全員が家族の協力を得て、我が家での節水にチャレンジし、エコ日記に記録し、学級集計をして節水量を確かめました。

⑤ 花王「エコ日記」活動Ⅱ・まとめと発信

ゴミを減らす取り組みや水を大切にすることを学校中に知らせるために、壁新聞にまとめたり、各クラスに行ってプレゼンをしたり、節水シールを作成して配布しました。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

東大阪市環境部循環社会推進課・川俣浄水場・株式会社アドバンス・花王「エコ日記」



《成果》

- 過去・現在・未来において水が人の生活に欠かせない重要な環境であること、水を含めた環境は人の生活によって、簡単に「危うく」なること等について活動を通じて体感できた。
- 環境に対して自分自身や家族、学校や地域が取り組めることがあることを知り、半年を超える取り組みで、自ら行動する場面が多く見られた。
- 関連付けて継続した学習により、環境（身近な社会）への関心が深まり、地域の方々と交流しながら進めることができたので、積極的に学習することができた。